

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・19〉	いわき市立大野第二小学校
〈実施日〉	平成 28年 4月 28日(木)	
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。 1 理科    ② 学級活動    3 総合的な学習の時間    4 その他( )	
〈実践内容〉	題材名「放射線について考えよう」  ねらい    ◎放射線についての基本的な性質を理解し、生活において注意しなければならないことを理解する。  主な学習内容 ・身の回りの自然放射線量について知る。 ・日常において線量の高い所があることが分かる。 ・放射線の性質と身体への影響について知り、健康被害の状況について理解する。 ・安全な生活の仕方についてまとめる。	
〈成果〉	・校内の敷地内で未だ線量が高いところがあり、足を踏み入れてはいけないことの原因が理解できた。 ・どんなことに気をつけてどのように生活しなければならないのかを、再確認することができた。	
〈課題〉	・他教科と関連させて、より関心を高めたり多くの知識を得たりすることができるようにしていきたい。 ・資料を読んだりDVDを視聴したりするだけでなく、実験を取り入れ体験する活動を取り入れたい。 ・外部講師を招聘して、もっと専門的に学習することを計画していきたい。	
資料作成担当者職(教諭)氏名(木村 美保子)	学校電話番号(33-2131)	

### 【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。  
(送信先：[kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp))